

各位

会社名：株式会社アルチザネットワークス  
 代表者：代表取締役社長 床次 隆志  
 （コード番号：6778 東証第二部）  
 問合せ先責任者：取締役常務執行役員管理本部長 清水 政人  
 （TEL：042-529-3494）

## 通期業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩し 並びに配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成29年8月31日に公表いたしました平成30年7月期（平成29年8月1日～平成30年7月31日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、繰延税金資産の取崩し並びに平成29年8月31日に公表いたしました平成30年7月期の配当予想の修正について、併せてお知らせいたします。

記

### ●業績予想の修正について

平成30年7月期 通期連結業績予想数値の修正（平成29年8月1日～平成30年7月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	3,000	120	121	78	9.66
今回修正予想 (B)	2,600	△545	△525	△661	△81.90
増減額 (B-A)	△400	△665	△646	△739	
増減率 (%)	△13.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成29年7月期)	1,991	△155	△138	△180	△22.37

### 修正の理由

平成30年7月期の第2四半期連結累計期間における売上高は、第3四半期以降に期ずれする案件があったものの計画に対して概ね順調に推移し、前年同期を大幅に上回りました。しかしながら下期において、モバイルネットワークソリューションの海外向けの売上見通しについては期初の想定に変更はないものの、国内の売上見通しでは5Gの開発投資を行っている顧客の慎重な投資姿勢の影響をうけ、3月の顧客の年度末に見込んでいたLTE-Advancedに対応する製品の受注が伸び悩んでいることに加え、5G対応製品の売上も来期以降となる見通しとなりました。IPネットワークソリューションにおいても、新製品の開発が遅れたことによる影響から期初の売上予想を下回る見通しとなりました。

利益につきましては、売上が期初の想定を下回ることに加え、モバイルネットワークソリューションにおける、LTE-Advancedに対する研究開発、5Gの研究開発費が期初の想定に比べ第2四半期以降に増加することに伴い、通期連結業績予想における営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、平成29年8月31日に公表いたしました平成30年7月期通期連結業績予想を大幅に下回る見通しとなりました。

### ●繰延税金資産の取崩しについて

平成30年7月期の通期連結業績予想の修正を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、平成30年7月期第2四半期連結会計期間において、繰延税金資産の取崩しを行い法人税等調整額に123百万円を計上いたしました。

●配当予想の修正（無配）について

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回予想 (平成29年8月31日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00			
前期実績 (平成29年7月期)	—	0.00	—	10.00	10.00

修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要項目の一つと位置付けており、内部留保の充実と企業体質の強化を図りながら、業績や財務状況、将来の事業展開などを総合的に勘案し配当を実施していくことを基本方針としております。

しかし、平成30年7月期通期連結業績予想の修正に伴い大幅な最終赤字となる見通しから、平成30年7月期の配当予想につきましては、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により本業績予想数値とは異なる可能性があります。

以 上